



すぎなみ 教育報



No.215

平成26年12月10日
(年4回発行)

すぎなみの教育情報発信中!

教育委員会ホームページ

<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

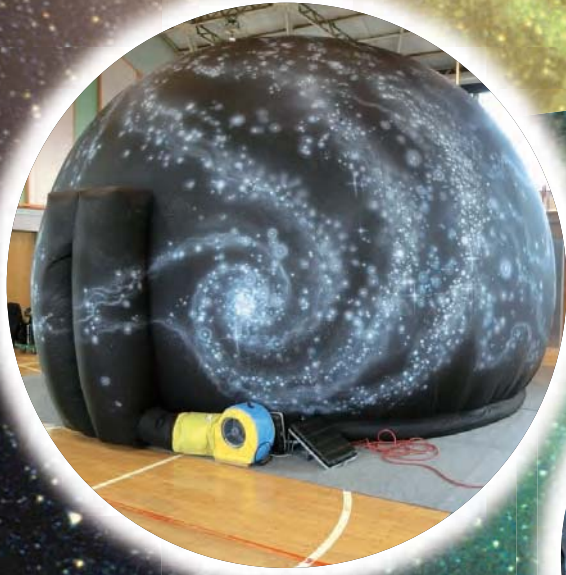
発行

杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 03-3312-2111 FAX 03-5307-0692

学校の体育館がプラネタリウムに早変わり!



体育館に設置された直径6m、高さ4mのドーム。東京ドームと同じように空気を送り込んで膨らませているエアドームです。中には星を映し出す機材が設置されていて、満天の星空を見ることができます。

杉並区では科学館のプラネタリウムの代替として、この移動式プラネタリウムの導入を検討しています。

今回は、試行的に実施された小・中学校の授業の様子をご紹介します。



ドーム内。中央の投影装置から星が映し出されます。子どもたちは椅子に座り天井を見上げて鑑賞します。

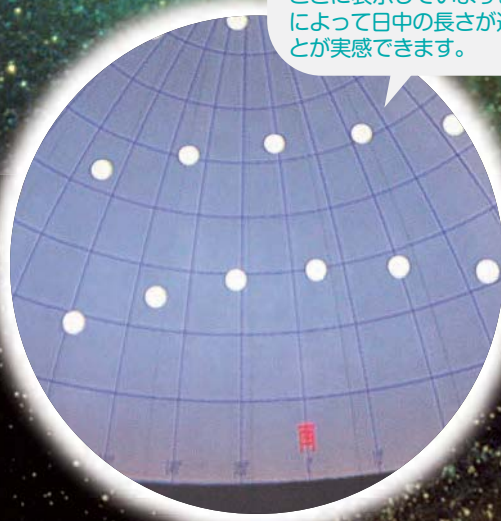


88の星座がドーム全体に広がると、子どもたちから大きな歓声が上がりました。



ブラックホールにすいこまれるように、ドーム内に1人ずつ入ります。

夏至、春分・秋分、冬至のそれぞれの太陽の動きを1時間ごとに表示しています。季節によって日中の長さが違うことが実感できます。



専用のパソコンソフトを使っているので、予めプログラムを作っておくことで、学校の先生が操作しながら授業することも可能です。



地球を飛び出して、様々な星の様子を調べることができます。地球の周りで光っているのは人工衛星です。

子どもたちの感想

- ★あんなふわふわしているものでできちゃうなんてビックリしました。すごくきれいに映っていてうっとりしました。(小4)
- ★プラネタリウムでは月と太陽の動きや星座が見られてよかったです。星空はとてもきれいでした。実際の空でも星座を探してみたいです。(小6)
- ★月と太陽の動きが日によって違うことが分かりやすかったです。町の明かりが消えると星がとてもきれいに見えると知ってびっくりしました。(小6)
- ★線や絵があることで星座がどんな形なのかがよく分かりました。また、高度線や時計などが表示されることでよりよく理解することができました。(中3)
- ★体育館で見られたので、プラネタリウムでの学習のまとめが学校ですぐにできてよかったです。(中3)

担当教員の感想

- ★生徒にとって非常に分かりやすい内容・説明で理解が深まったようでした。
- ★エアドームは、中に入ってみると狭い感じがせず、プラネタリウムを楽しむことができました。太陽や月の動きがとても分かりやすく、子どもたちも興味をもって見ることができました。

PTAの方の感想

- ★ドーム式の天空一面に広がる星を見て、星空が美しいのはもちろん、その素晴らしい技術に驚かされました。早く各校の児童に体験させたいと思いました。
- ★先生との距離が近く、子どもが次々と質問してしまうのですが、一つ一つ快く答えてくださっていました。実際の夜空を見てみたくなるとてもよい授業だと思いました。



今後も試行を重ね、デジタル方式ならではの教育効果の高い投影について検討していきます。 問合せ：済美教育センター ☎ 03-3311-0021

杉並区次世代育成基金活用事業

杉並区では次代を担う子どもたちのために創設した「次世代育成基金」を活用した事業を行っています。

～南十字星の下で生まれた友情が、2つの都市を結びます～ 中学生海外留学事業

平成26年8月20日～9月1日まで、杉並区内の中学生25名が友好都市であるオーストラリア連邦ウィロビー市に留学してきました。ウィロビー市ではホームステイや現地校体験（男子はフォレストハイスクール、女子はウィロビーガールズハイスクール）、マッコリー大学での教育プログラムなどの貴重な体験をし、皆一回り成長して帰国しました。

11月29日に実施した派遣生徒たちによる「成果報告会」では、一人ひとりが自ら設定した研究テーマの発表を行い、現地で日本の文化を紹介するために行った英語劇「かぐや姫 (Bamboo princess)」を発表しました。



現地校での様子



フォレストハイスクール



お世話になったホストファミリーと



マッコリー大学の学生との活動



ウィロビーガールズハイスクール



成果報告会 (11月29日)



参加生徒の声

「日本がすべて」だと勝手に認識している自分の凝り固まった視野を広げたいと思ったから杉並区中学生海外留学に参加した。オーストラリアでの日々はとても充実していた。特に印象深いのはホームステイで、ここでの生活は僕を成長させてくれた。日本と違う食文化を肌で感じ、ゆったりと流れる時間の中で多くの発見をし、すべての経験が自分の糧となったと実感している。この楽しかった海外での記憶を今後の人生に生かし、視野を常に世界に向け活躍できるような人間になりたいと思う。

(天沼中学校 第3学年 古浦清夫)

私は、今回の留学で英語が通じるかなど不安でいっぱいだった。到着して、自分の聞きたいことが相手に伝わらず、自分の英語力の無さを痛感した。しかし、ホストファミリーと出会い、きれいな英語でなくても伝えようという気持ちがあれば、相手も分かってくれると実感した。留学したことで、もっと英語で話す力、聞く力をつけなくては行けないと強く思った。この経験はとても貴重で、私の世界観をガラリと変えるものであった。将来に向かって、世界で通用する人間となれるようより一層努力していきたい。

(中瀬中学校 第3学年 神田紗季)

ホームステイでは、本当に温かい家庭に迎え入れていただき、とても幸せな時を過ごせたと同時に、ネイティブの英語を生で聞くことができ、とても良い経験ができた。会話を聞き取ることができたものの、自分の意見を直球で伝えるにはまだまだ勉強が足りないのだと実感した。また、外国人の考え方や、食文化、休日の過ごし方、日常生活を体験でき少し世界観が広がった気がした。ホームステイの1週間は毎日が本当に濃く、一日一日に、第2の家族と共に過ごしたたくさんの思い出が詰まっている。

(神明中学校 第3学年 柄本凜生)

～厳しい寒さが子どもを育みます～ 小学生名寄自然体験交流事業

平成26年12月26日～28日まで、杉並区内の小学生25名を交流都市である北海道名寄市に派遣します。この事業は、自然の厳しさや豊かさに触れるとともに、国内最大級の望遠鏡での天体観測などの体験、地元の子どもたちとの交流を通じて、科学への知的好奇心や探究心、豊かな人間性を育むことを目的としています。

平成26年11月4日の結団式から始まり、3回の事前学習会を行ったうえで本番を迎え、翌年2月には学習成果発表会を行います。



主な予定



事前学習会の様子

1日目	メガソーラー見学、天体観測
2日目	北国博物館での学習 名寄の子どもたちとの交流 (スノーシュートレッキング、かまくら体験、カーリングなど) 天体観測
3日目	旭山動物園見学

～美しい島で、若き環境リーダーを育てます～ 中学生小笠原自然体験交流事業

平成27年3月23日～29日まで、杉並区内の中学生30名を世界自然遺産である小笠原村に派遣し、美しい自然の中で様々な体験学習を行い、現地の方々との交流活動を行っていきます。この事業を通じて、子どもたちが豊かな人間性を育み、各学校・地域における環境保全活動の推進役となることを期待しています。



昨年度の様子

平成26年11月6日には結団式を行い、代表生徒から力強い決意表明がありました。今後行われる事前学習会では、各自が設定した環境に関するテーマについて研究を深めていきます。



代表生徒の挨拶

主な予定

1日目	竹芝客船ターミナル発
2日目	小笠原二見港着 歓迎セレモニー シュノーケルレッスン
3日目	シュノーケリング 天体観測
4日目	ビーチクリーニング ガイドと一緒に自然観察
5日目	現地中学生との交流 ピジターセンター見学
6日目	見送りセレモニー 小笠原二見港発
7日目	竹芝客船ターミナル着

問合せ：海外留学事業・小笠原自然体験交流事業 済美教育センター ☎03-3311-0021 名寄自然体験交流事業 生涯学習推進課管理係 ☎03-3312-2111



「次世代育成基金」に皆様の応援寄附をお願いします。寄附のお申し出は、児童青少年課青少年係 ☎03-3393-4760



準常設展「杉並文学館」

杉並区にゆかりの深い井伏鱒二を中心に、昭和初期の「文士」と呼ばれる作家たちを、自筆原稿や書簡、愛用品などとともに紹介します。

期間：12月20日(土)～平成27年3月1日(日) 午前9時～午後5時 場所：郷土博物館(大宮1-20-8)

休館日：毎週月曜日、毎月第3木曜日(祝日・休日の場合は翌日)、12月28日～1月5日 観覧料：100円(中学生以下無料) ☎03-3317-0841

地域運営学校 成果検証調査を実施しています

地域運営学校（コミュニティ・スクール）とは、学校運営協議会を設置する学校です。

学校運営協議会は、保護者や地域住民、学識経験者、校長で構成され、校長が作成した学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べるといった取組みを行っています。

教育委員会では、平成17年度に区立小・中学校4校を地域運営学校に指定して以来順次指定を進め、現在は全体の4割となる27校（平成26年10月1日時点）まで拡大してきました。そして平成33年には全校指定を目標にしています。

このたび、教育委員会が地域運営学校の指定を始めて10年目を迎え、これまでの取組みが、子どもや子どもを取りまく家庭・地域・学校にどのような成果や影響をもたらしているのかを把握する調査を行っています。調査の結果を踏まえ、地域運営学校に指定されている学校（小17校、中10校）と、未指定の学校（小25校、中13校）の2グループの対比を基本とし、以下の視点から分析を進めています。



学校運営協議会の様子（桃井第四小学校学校運営協議会）

分析の視点

(1) 子どもたちの教育環境は豊かになったのか

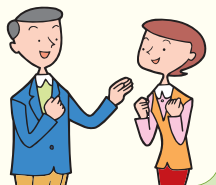
- 児童・生徒の自己効力感（自らの成長への期待感）
- 児童・生徒の地域への関心・関わり
- 自由に遊べる場所 など

(2) 地域は活性化したのか

- 地域住民相互の交流
- 教員の保護者や地域住民への期待感
- 保護者や地域住民の学校への協力具合 など

(3) 学校の経営力は高まったのか

- 校長のリーダーシップ
- 保護者の学校への満足度
- 教員のやりがい・ストレス など



今年度の「すぎなみ教育シンポジウム」は、調査実施及び結果分析にご協力いただいた金藤ふゆ子氏（文教大学教授）からの結果概要報告を踏まえ、参加者の皆様と、地域と共にある学校の「これから」を考える場として開催します。

すぎなみ教育シンポジウム 地域と共にある学校 — 対話と協働と創造の教育を目指して —

【日時】 平成26年12月20日（土） 午後1時30分～4時（開場：午後1時）

【会場】 勤労福祉会館ホール（杉並区桃井4-3-2）

【内容】 第1部 地域運営学校成果検証調査の結果概要

文教大学人間科学部教授 金藤 ふゆ子 氏

第2部 シンポジウム「地域と共にある学校 — 対話と協働と創造の教育を目指して —」

【進行】 生重 幸恵 氏（天沼小学校・天沼中学校学校運営協議会委員）

【登壇者】 金藤 ふゆ子 氏（文教大学人間科学部教授） 長 俊介 氏（富士見丘中学校学校運営協議会会長）
谷原 博子 氏（桃井第四小学校学校運営協議会委員） 小原 潤 氏（方南小学校校長）

第3部 記念講演「江戸の教育システムに学ぶ」

【講師】 東京学芸大学教授 大石 学 氏

（定員） 366名（申込順） **（費用）** 無料

（申込） 電話またはEメールで申込み。Eメールの場合、件名「すぎなみ教育シンポジウム」、本文に①住所（丁目まで記載）②氏名（フリガナ）③電話番号 を記入してください。

（問合せ） 学校支援課学校支援係 ☎ 03-3312-2111 ✉ gakkosien@city.suginami.lg.jp



大石 学 氏

言語学級と情緒学級を併設した区内初の通級指導学級が開設 ～高井戸第四小学校～



平成27年4月、杉並区内初の言語学級と情緒学級を併設した通級指導学級を高井戸第四小学校に開設します。児童は通級日以外は、それぞれ自分の在籍校（通常の学級）で学校生活を送り、決められた曜日・時間に学級に通ってきます。

言語学級では、発音、話し方、言葉のやり取り、学習への取組みなど、情緒学級では、対人関係、コミュニケーション、学習への取組みなどの指導を行い、在籍校での指導にもアドバイスをを行います。

併設であっても、言語学級の児童と情緒学級の児童とが合同で学習や活動をすることはありませんが、児童の発達の特徴やニーズをどのように理解したらよいか、指導内容や教材をどうしたらよいか、両学級の教員同士で相談や連携をすることができ、指導の効果が高まっていくことが期待されます。

また、通級指導学級での指導や相談の実践が、高井戸第四小学校全体の教育活動の充実に生かされていくことが見込まれます。

問合せ：特別支援教育課 ☎ 03-3311-1921



区民参加型展示「20分で行く 荻窪の昭和 — 井伏・太宰、荻外荘 —」

分館から徒歩20分圏内で行ける、文学者ゆかりの地や歴史的建造物などを紹介します。実施団体：NPO法人すぎなみ学びの楽園
期間：11月22日（土）～平成27年3月29日（日） 午前9時～午後5時 **場所**：郷土博物館分館（天沼3-23-1）天沼弁天池公園内
休館日：毎週月曜日、毎月第3木曜日（祝日・休日の場合は翌日）、12月28日～1月5日 **観覧料**：無料 ☎ 03-5347-9801

すぎなみウェルネス DAY2014 を開催しました

10月25日(土) 杉並第十小学校において、子どもたちの生活を「運動」・「食育」・「生活習慣」の3つの視点から捉えた総合イベント「すぎなみウェルネスDAY2014」を開催しました。当日は、約3,000人が来場し、大いに盛り上がりました。

運動部門

○長縄グランプリ



食育部門

- 中学生作品の展示 (食育に関するテーマ)
- 学校給食の試食会
- 食育クイズ



学校給食のお弁当「ウェルネス弁当」です。

生活習慣部門 (保健)

- 講演会「ハードルを超える」
講師：為末 大 (元プロ陸上選手)
- 健康づくりリーダーの会による
「いのちの大切さを育む生活習慣病・がん予防ブース」



問合せ：学務課保健給食係



三谷小学校 スーパー食育スクール SSSs

三谷小学校では、食育のさらなる充実を図るため平成26年度から「スーパー食育スクール(SSS)」事業を開始しました。「学校、家庭での和食推進の取組みを通じた社会性の向上と生活リズムの改善」をテーマに全学年で活動を進めています。

10月に行われた5年生の授業では、(株)味の素の協力のもと、日本の和食の基本である「だし」について学びました。おいしさや味を感じる仕組みを知ることから始まり、だしの試飲、昆布や煮干しなど、だし素材を実際に見るなど、伝統的な日本の食文化に触れました。

このような和食教育の授業に加え、全校弁当の日、栽培・収穫体験、地域や山梨県忍野村の農家との交流、健康教育の講演会など、様々な取組みを行い、食育活動を進めています。



鰹節の削り体験。その硬さに皆びっくり。



お湯に味噌を溶いたものと、それにだしを加えたものを飲み比べ。

スーパー食育スクール事業とは？

平成26年度にスタートした文部科学省の事業で、全国42校が学校ごとにテーマを設定して実施。地域や企業、生産者等と連携し、食育を通じた学力向上、健康増進、地産地消推進など、食育の多角的効果について検証を行うものです。



廊下にSSSの取組みを掲示し、情報共有しています。

教育委員を紹介します

田中奈那子委員の任期満了に伴い、10月15日付で伊井希志子氏が新たに教育委員に就任されました。また、後任の委員長職務代理者には對馬初音委員が選任されました。



馬場俊一 委員長



對馬初音 委員長職務代理者



折井麻美子 委員



井出隆安 教育長

委員 就任にあたって



伊井希志子 委員

このたび、教育委員を拝命いたしました伊井希志子と申します。今この重責に身の引き締まる思いです。

子育てをしてきた中で多くの方々に出会い、お世話になりました。ご恩返しとなりますよう、未来ある子どもたちの笑顔のために、共に学び共に支え共に創る杉並の教育に向け精一杯努力してまいります。

問合せ：庶務課庶務係

教育委員会の動き (平成26年9月~11月)

会議は、毎月第2・4水曜日に定例会を、また必要に応じて臨時会を開催しています。

原則公開とし、どなたでも傍聴することができます。※会議日時・場所は、教育委員会ホームページをご確認ください。

【教育委員会開催状況】 定例会 6回 ・ 臨時会 2回 ・ 議案 13件 ・ 報告事項 19件

【主な案件】 ◎は議案、○は報告事項

- ◎ 杉並区教育委員会における公共施設予約システムの利用に関する規則
- ◎ 杉並区学校教育職員の主任教諭選考に係る事務の委託について
- 「杉並区教育ビジョン2012推進計画」の改定について
- 高井戸駅前事務所宮前分室跡地等を活用した適応指導教室の開設について
- 「平成25年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の概要及び結果について
- すぎなみウェルネスDAY2014 ~からだ力(りょく)向上を目指して~ の実施報告について
- 杉並和泉学園の学園章について
- 桜上水北図書サービスコーナーの新設について
- 杉並区立桃井第二小学校改築の検討体制について

●再生紙を使用しています